

平成 2 5 年 度
事 業 報 告 書

自 平成 2 5 年 4 月 1 日
至 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

(平成 2 6 年 5 月)



一般社団法人 日本ねじ工業協会

目次

第1章 平成25年 ねじの生産・輸出入状況	1
第2章 事業活動	2
I 委員会事業	2
1. 政策委員会事業	2
(1) 災害対応作業	2
(2) 委員会・部会活動強化への諮問	2
(3) 会員増強の推進	2
(4) 決算・予算報告への諮問	2
(5) その他	2
2. 未来開発・パブリシティ委員会事業	2
(1) IT化された「会報ねじ」の有効活用	2
(2) 未来開発・パブリシティ委員会活動	2
(3) 今後の活動の方向性の検討・決定	3
(4) 協会内のEメール情報網構築推進活動	3
(5) 調査・広報関係事業	3
(6) 平成26年度本委員会事業計画案の策定	3
3. 資格委員会	4
(1) 資格委員会事業に係わる事業内容（計画）の具体化	4
(2) テキスト（改訂・拡充等）に関する作業	4
(3) ねじ製造技能検定 講習会及び協会認定に関する事業推進	4
(4) 職業能力評価基準の活用促進事業推進	6
(5) 本委員会事業反省会の開催	6
(6) 平成26年度本委員会事業計画案の策定	6
(7) その他、資格制度に関する事業	6
4. 技術委員会事業	7
(1) 技術講習会及び需要業界視察の開催	7
(2) 資格委員会事業への協力並びにねじ入門書改訂検討	7
(3) ねじに関する安全啓発事業	7
(4) 圧造技術スクール関係事業	7
(5) JIS/ISOに関する事業	8
(6) サポートインダストリー振興事業	8
(7) 環境対策に関する事業	8
(8) ねじ入門書の頒布、JISハンドブックの斡旋	8
(9) ねじ入門書のCD化準備作業	8
(10) 平成25年度本委員会事業計画案の策定	8
(11) その他、技術振興事業	8

5. 国際委員会事業	8
(1) 2014年五地域ねじ協会交流大会（於台湾）の参加対応	8
(2) 2013年五地域ねじ協会交流大会（於上海）への参加	9
(3) 原産地規則、自由貿易協定、TPPに関する情報収集	9
(4) 海外ねじ関連企業工場見学	9
(5) 国際関連情報の情報収集提供	9
(6) その他、国際協調・競争力強化関係事業	9
6. 労務委員会事業	10
(1) 会員企業の労務に関する調査	10
(2) 雇用関係情報等の労務関係情報の収集・提供	10
(3) 団体保険制度等 福利厚生作業	10
7. 財務委員会事業	10
(1) 協会の適正な財務状況への対応	10
(2) 会費規程の見直し対応	10
II 部会事業	11
III 組織強化事業	12
(1) 魅力ある協会運営のための事業推進	12
(2) 一般社団法人への移行後の事務作業	12
(3) 諸規程整備準備	12
(4) 政府経済対策等への対応	12
(5) 取引の適正化に係わる事業	12
(6) 関連団体との連携強化	12
(7) その他	12
第3章 総会、理事会、執行役員会、懇談会・懇親会等	13
1. 総会、理事会、執行役員会	13
(1) 総会	13
(2) 理事会、執行役員会	13
2. 懇談会・工場見学会・懇親会等	14
3. ねじ商工連盟総会	15
【平成25年度会員数推移】	16
【参考1】第1回社員総会議事録	17

第 1 章 平成 25 年 ねじの生産・輸出入状況

- (1) 生産 (速報) (出所：当協会推計)
- 重 量：288 万トン (対前年比 2.9%減)
- 金 額：8,371 億円 (対前年比 0.0%減)
- 数量・金額とも減少。
- (過去最高－H19：数量 (334 万トン)・H19：金額 (9,005 億円))
- (参考－H21 (リーマンショック)：数量 222 万トン
金額 6,274 億円)
-
- (2) 輸入 (出所：財務省貿易統計)
- 重 量：25.4 万トン (対前年比 12.0%増)
- 金 額：837 億円 (対前年比 28.1%増)
- 数量・金額とも大幅増加。数量では過去最高。
- (過去最高－H25：数量 (25.4 万トン)・H19：金額 (864 億円))
- (主要輸入先国：中国、台湾、米国 (数量 3 位：韓国))
-
- (3) 輸出 (出所：財務省貿易統計)
- 重 量：33.1 万トン (対前年比 2.5%増)
- 金 額：2,753 億円 (対前年比 11.0%増)
- 数量・金額とも増加。金額では過去最高。
- (過去最高－S52：数量 (38.1 万トン)・H25：金額 (2,753 億円))
- (主要仕向地：中国、米国、タイ)
- (仕向地 1 位：米国 → 中国 (一昨年は 1 位中国、昨年に米国 1 位に逆転))

(参考) 需要業界生産動向

(出所：生産動態統計 (輸送機械、電気・電子デバイス・情報通信機械、一般機械))

(暦年)	四輪自動車		民生用電気 機械器具	民生用電子 機械器具	金属工作機械	
	万台	億円	億円	億円	万トン	億円
24 年	994	173,988	7,974	11,337	43	11,519
25 年	963	179,265	8,308	8,232	32	8,828
前年比	96.9%	103.0%	104.2%	72.6%	74.4%	76.6%

- ・ねじの日事業（イベント）の検討
 - ・会報「ねじ」の会員限定記事へのパスワード解除に関する検討
 - ・その他 地位向上を目指した活動に関する検討
 - これまで同様 Facebook グループ機能による同委員会の迅速な情報共有を推進
- (3) 同委員会による今後の活動の方向性の検討・決定
- 同委員会で、協会創立 55 周年（平成 27 年度）に向けた今後の活動の方向性並びに体制整備に関する検討
- 会報中心の活動に加え、パブリシティを手段とした一層の業界（協会）の地位向上を目指すという同委員会の原点を改めて確認
 - 平成 27（2015）年に協会創立 55 周年を迎えるにあたり「新時代を担う人材に研鑽の場の提供をする」「業際とのネットワークを構築する」などの課題について、今後、企画化／事業化を進めていくこと並びにそのために必要な同委員会組織の（会員からの）委員の入替えを含めた再編成などについて同委員会で大筋承認された
- (4) 協会内の E メール情報網構築推進活動
- 委員による積極的な登録推進活動の結果、H26. 2 末現在の会員の窓口責任者登録率は 96. 0%（企業数 191/199 社）となった。
（メルマガ本格スタート時点（H24. 7）窓口責任者登録率：25%）
 - メルマガ読者登録数 632 人（副窓口責任者も含む）（昨年度比 30. 6%増（昨年度：484 人））
- (5) 上記以外のこれまで実施して来た調査・広報関係事業
- 年頭所感・ねじの日挨拶等の会報「ねじ」発表対応
 - その他協会ホームページの更新（協会事務局担当分）
（会員名簿／協会からのお知らせ／会員専用ページ／官公庁からの通達用 その他更新）
 - 生産統計の作成（メールを活用した収集）
 - 輸出入統計、主要国のねじ貿易統計の作成
 - 「ねじの日」記念事業
 - ・ねじ関係報道各社（3 紙・誌）へのねじの日及び当協会 P R 広告掲載
 - ・「ボルト型ボトル」（平成 18 年度にねじの日記念として作成）の通年頒布
（必要に応じ何時でも申し込める）
 - ・ねじの日記念「ハンドタオル」（日本ねじ商業協同組合連合会 企画・販売）の頒布斡旋
（H26. 6. 1 ねじの日記念事業）
 - 官公庁、その他関連団体などからの業界関連情報の収集・提供
 - 官公庁、その他関連団体などからの調査（情報収集）依頼及び情報提供依頼への協力
（メール及びホームページを活用した会員との双方向の情報収集／提供の実現）
 - TV 局、報道各紙・誌、他業界などからのねじ・業界・当協会に関する取材／問合せへの対応
 - その他
 - ・その他 会員並びに業界（関連）情報の情報収集・提供
 - ・その他 当協会・会員・業界（関連）情報の広報／周知（P R）活動
- (6) 平成 26 年度 本委員会の事業計画案の策定
- IT 化の有効活用の推進強化（協会外部向け読者拡大のための事業）
 - 「会員の手による広報」の実現のための体制確立と広報活動の裾野の拡大
 - 地位向上のための事業
 - ・会員の参画の機会を増やす会員サービスの拡大
 - ・業際（ねじ製造関連業界）向けの企画の検討
 - ・協会創立 55 周年に向けた企画の検討及び事業化への推進
 - その他ねじ業界振興発展のための事業
 - ・六角ボルト、六角ナットに関する JIS 規格改定に関する周知徹底事業
 - ・国立博物館の産業遺産調査への協力並びに調査結果の活用の検討
 - ・MF-Tokyo 2015 プレス・板金・フォーミング展の特別協賛への対応
 - 当協会推進事業に関する広報活動

3. 資格委員会 (椿省一郎委員長)

昨年度実施した、ねじ製造技能検定創設に向けた事業を国家検定への次の段階に進めるために以下の事業を推進

- (1) 資格委員会事業に係わる事業内容(計画)の具体化の審議、決定、同事業推進
- (2) テキスト(改訂・拡充等)に関する作業
 - 検定委員会と技術委員会と合同で同テキストの拡充並びにねじ入門書の統合を検討
(H25. 6. 13 合同検討会開催、於:神戸 ホテルホップインアミニング)
 - 検定委員会でねじ製造技能検定 講習会及び協会認定で使用するテキストの拡充・改訂推進
 - ・同委員会で改訂方針の検討、決定(① ねじ業界関係者に必要な内容、② ねじ製造オペレータに必要な知識の明確化)
 - ・上記改訂方針に則り、同委員会で現テキストにアンダーラインを入れ重要な個所を明確化
 - ・同テキスト拡充・改訂について講習会講師へ協力依頼を行うと共に、講師への説明会開催
(H25. 12. 4 於:大阪 鐵鋼会館)
 - ・アンダーラインを入れた同テキストを講習会講師に配布
- (3) ねじ技能検定制度創設に向けたねじ製造技能検定 講習会及び協会認定に関する事業推進
 - ねじ製造技能検定(協会認定)を国家検定化するための検討(検定委員会)
 - ・厚生労働省、JAVADA、鍛造協会等の創設に必要な関係諸団体とのヒアリング(交流)並びに見聞調査
 - ・鍛造職種(プレス型鍛造作業)技能検定(於:滋賀県)の見聞調査
 - ・国家検定化に向けた1級試験内容検討並びに作業試験の拡充検討(トライアル含む)
 - ねじ製造技能検定創設に向けた講習会の実施
 - ・関東、中部、関西で、地域毎3回の講習会を開催(地域毎に同一日に開催)

日程	第1回目 H25. 8. 27	
	第2回目 H25. 9. 24	
	第3回目 H25. 10. 22	
実施場所	関東 於:東京 機械振興会館	参加者:40名
	中部 於:名古屋 AP名古屋. 名駅	参加者:35名
	関西 於:大阪 天満研修センター	参加者:57名
 - ・カリキュラム 次頁カリキュラム1~3(計3日)で1セット(地域毎1~3を交替で実施)
(注1)カリキュラムは次頁参照
 - (対象:当協会会員 受講料:10,000円(3日間)-学科5,000円/実技5,000円 テキスト代5,000円)
(協会所属組合員 受講料:15,000円(3日間)-学科7,500円/実技7,500円 テキスト代7,500円)
 - ねじ製造技能検定(協会認定)の実施に向けた取組み(同委員会)
 - ・ねじ製造技能検定(協会認定)の受検資格等の基本事項について検討
結果、昨年同様 ・2級のみ
 - ・受検資格:実務経験3年以上
 - ・受検対象者:会員企業並びに協会所属組合員企業
 - ・ねじ製造技能検定(協会認定)実施に向けた活動計画の検討・決定
 - ・ねじ製造技能検定(協会認定)を実施運営に携わる検定員増強、委嘱に関する作業
 - ・ねじ製造技能検定(協会認定)1級創設のための検討・準備作業
 - ・学科試験、実技試験の試験基準・合格基準・作業試験の評価基準等の見直し
 - ・学科試験の検討・問題内容の見直し・試験問題作成
 - ・実技試験(要素試験)内容見直し、試験問題作成
 - ・実技試験(作業試験)内容・試験問題見直し検討
 - ・実技試験の作業試験に対するチェック項目の再検討・チェックシートの見直し
 - ・実技試験の作業試験に対する検定員のレベル合わせ・向上
模擬実技試験の実施(H25. 1. 30 於:東京 機械振興会館)
検定員レベル合わせ向上(確認)講習会の開催
(H25. 2. 13 於:名古屋 愛知県産業労働センター)
検定当日の担当分け等の各3地域単位の検定員会開催
(H25. 2. 13 於:名古屋 愛知県産業労働センター)

- ・ 関東・中部・関西同日（同時間）実施体制の検討
（新規検定員及び事務局の関東、中部、関西担当分けなど）
- ・ 作業試験の試験サンプル、測定器等 試験に必要なもの（備品含む）の準備
- ・ ねじ製造技能検定（協会認定）当日の試験段取り（プログラム）の検討・準備

(注1) <ねじ製造技能検定講習会カリキュラム>

	時間	テーマ	講師
カリキュラム1 8.27 関東 9.24 中部 10.22 関西	9:20～10:10	ねじの基礎について	(一社)日本ねじ工業協会 専務理事 大磯義和 氏
	10:20～11:30	ねじ用材料とその熱処理	関東:大阪精工(株) 常務取締役 森川勉 氏 中部/関西:大阪精工(株) 取締役 古賀浩介 氏
	12:20～13:20	品質管理と検査	(株)フセラシ 品質保証課次長 主幹 吉岡正澄 氏
	13:30～14:20	表面処理について	日本表面化学(株) 常務取締役 山室正明 氏
	14:30～15:00	圧造油について	スギムラ化学(株) チームリーダー 山口直樹 氏
	15:00～15:30	安全衛生について	日産ネジ(株) 製造課長 土居貴志 氏
	15:40～16:40	効果測定試験	
カリキュラム2 8.27 関西 9.24 関東 10.22 中部	9:20～11:50	ボルト製造設備、電気、圧力関係及び ボルト鍛造加工機の取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	(株)エーオー 取締役 サービス技術部長 松浦富康 氏
	13:00～14:40	転造盤の設備及びボルト転造機の 取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	(株)三明製作所 取締役 営業部長 谷口正樹 氏
	14:50～16:45	ねじの製図講習 (JISに準じたボルトの製図方法及び ボルト製品の作図実習)	関東:(株)互省製作所 技術品質保証部設計課長 情野克也 氏 中部:(株)メイドー 技術部生産準備課長 松島敏之 氏 関西:(株)丸エム製作所 執行役員 品質保証部長 出羽弘 氏
カリキュラム3 8.27 中部 9.24 関西 10.22 関東	9:20～11:50	ナット生産設備及びナット鍛造加工機の 取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	(株)阪村機械製作所 技術部課長 遠藤信幸 氏
	13:00～14:40	ナットタッピング生産設備及び ナットタッピング機の取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	東京タッピングマシン(株) 部品設計主任 太田譲 氏 (株)野村工具製作所 製造部次長 林達志 氏
	14:50～16:45	ボルトの測定講習 (JISに準じたボルトの測定方法及び ボルト製品の測定実習)	(株)ミツトヨ 関東:東日本営業部 技術営業2課 平徹矢 氏 中部:中部営業部 流通営業課 吉田宏 氏 関西:関西営業1課 副主査 楠武史 氏 (株)メイドー 品質保証部品質保証課係長 藤本晃生 氏

○ ねじ製造技能検定（協会認定）の実施

- ・ 関東、中部、関西の3地域同日同時間によるねじ製造技能検定（協会認定）実施
（昨年度一部合格者は、一部合格済試験は免除）

試験日：H26. 2. 20 関東-於：東 京 機械振興会館 受検者：31名
中部-於：名古屋 愛知県産業労働センター 受検者：25名
関西-於：大 阪 天満研修センター 受検者：57名

(対象：当協会会員 学科試験：5,000円、実技試験：10,000円
協会所属組合員：学科試験：6,500円、実技試験：15,000円)

<受検カリキュラム> 9:45 実技試験受付開始 10:15 着席完了
10:30 実技試験開始（途中作業試験と要素試験の入換え時間あり）
・ 作業試験：60分
・ 要素試験：60分
13:00 実技試験終了
（昼食）
13:30 学科試験受付開始 13:50 着席完了
14:00 学科試験開始（学科試験：60分）
15:00 学科試験終了

- ・ねじ製造技能検定（協会認定）の採点／可否判定（同委員会）
受検者 113 名中、合格者 31 名、一部合格者 学科試験 31 名、実技試験 2 名
- ・ねじ製造技能検定（協会認定）の合格者受検番号を協会ホームページで公表
- ・ねじ製造技能検定（協会認定）合格証、一部合格証送付
- ・ニュースリリースの発表

(4) 職業能力評価基準の活用促進事業推進

- 厚生労働省の職業能力評価基準紹介ページや昨年度に職業能力評価基準活用促進事業（厚生労働省補助（MURC へ委託）事業）で作成した OJT コミュニケーションシートを当協会ホームページにリンク・公開・PR するなど普及・活用促進を推進
- ねじ製造業の職業能力評価基準並びに昨年度作成した活用促進ツール類のさらなる活用促進・普及について検討
- ねじ製造業の職業能力評価基準の活用促進に関する説明会の開催
 - ・ 関東、中部、関西の 3 地域でねじ製造業の職業能力評価基準の説明会を開催
 - 開催日程：H25. 8. 9 関東-於：東京 東京會館 参加者：33 名
 - H25. 7. 11 中部-於：名古屋 キャッスルプラザ 参加者：27 名
 - H25. 12. 5 関西-於：大阪 ホテル日航 大阪 参加者：48 名

＜ねじ製造業「職業能力評価基準」の活用促進に関する説明会次第＞
(3 地域プログラム共通)

時間	内容
関東・中部：14:30～14:40 関西：10:35～10:40	[開会挨拶] 一般社団法人日本ねじ工業協会 副会長・資格委員長 椿 省一郎
関東・中部：14:40～15:40 関西：10:40～11:40	[講演] ねじ製造業における職業能力評価基準とその活用について 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(MURC) 組織人材戦略部 シニアコンサルタント 乾 靖志 氏
関東・中部：15:40～16:00 関西：11:40～12:00	[職業能力評価基準活用促進委員会委員(代表)からの報告] ねじ製造業における具体的な活用事例紹介について
関東・中部：16:00～16:10 関西：12:00～12:10	質疑応答

(5) 本委員会事業反省会の開催

平成 24 年度の本委員会事業（実施）を受け、さらなる発展を目指して検定委員会、ねじ製造技能検定 講習会講師及び協会認定検定員、平成 24 年度職業能力評価基準活用促進委員会（MURC 委託事業）委員との合同反省会・懇親会開催（H25. 4. 23 於：名古屋 キャッスルプラザ）

(6) 平成 26 年度 本委員会の事業計画案の策定

- ・ねじ製造技能検定創設に向けた講習会の見直し並びに拡充検討
- ・ねじ製造技能検定（協会認定）の充実
(試験段取り(プログラム)・採点手順等見直し、検定員及び受検者レベルの向上、
同協会認定のさらなる普及活動)
- ・技能検定創設のための取組み（計画案の策定、作業試験拡充検討(トライアルの実施)）
- ・ねじ製造業の職業能力評価基準の活用促進・普及推進・拡充検討
(活用事例普及、新たな活用促進方法検討、職業能力評価基準の拡充検討)
- ・平成 26 年度に講習会講師によるテキスト改訂（拡充）作業を推進

(7) その他、資格制度に関する事業

- ねじ製造技能検定創設に向けた講習会及びねじ製造技能検定（協会認定）の事務処理
(日程調整、広報、案内、会場確保、会場準備、データ処理、受検（講）票送付等)
- 技能検定創設に向けた諸作業
(厚生労働省・JAVADA とのヒアリングなどの対応、手続き・取組等検討、
諸規定の整備(見直し) 他)
- 資格委員会事業の体制（整備）拡充及び事務処理体制整備

4. 技術委員会事業（相澤正己委員長）

(1) 技術講習会及び需要業界視察の開催

○ 技術講習会

- ・「ねじ製造技能検定創設に向けた講習会」開催（資格委員会事業）
- ・技術開発動向講演会

開催日	時間・場所 参加者数	テーマ・講師・その他
25.12.5	15:30～16:30 大阪・ホテル日航大阪 参加者 77 名	・テーマ:「線材の需要動向を踏まえた線材の技術開発」 ・講師: (株)神戸製鋼所 技術開発センター 線材条鋼開発部長 稲田 淳 氏
25.12.13	13:30～15:00 横浜・総合車両製作所 参加者 32 名	・テーマ:「鉄道車体の構造進化」 ・講師: (株)総合車両製作所 設計部長 西垣 昌司 氏

○ 需要業界視察

- ・エンジン関係メーカー工場等見学（関西支部事業）
- ・鉄道車両メーカー工場等見学（関東支部事業）
- ・航空機メーカー工場等見学（中部支部事業）

(2) 資格委員会事業への協力並びにねじ入門書改訂検討

資格委員会事業のねじ製造技能検定講習会及び協会認定で使用するテキストの改訂作業への協力を行った。(H25. 6. 13 合同検討会開催、於:神戸 ホテルホップインアミング)

その中で、ねじ入門書の見直しを検討すると共に、同テキストとねじ入門書の統合の可否も同時に検討

(3) ねじに関する安全啓発事業

○ 「ねじの常識・非常識」に関する検討

(会員事業 WG 開催 (2 回) :H25. 6. 6、H25. 11. 29 於:機械振興会館)

○ 広く一般向けのねじの安全啓発記事「ねじの常識・非常識」の執筆、HP 掲載

テーマ
Qーねじを締付けたらねじの頭が木に食い込みました。どうしたら良いでしょうか？ Aー座金(ワッシャー)を入れるなどして座面面積を大きくしたねじを使用する。

(4) 圧造技術スクール関係事業（(株)旭サナックと共催）

○ 圧造技術スクールの開催

平成 25 年度は、下記のとおり工程設計コース 4 回、金型設計コース 2 回の計 6 回開催し、計 137 名が参加した。

開催日	内容	開催場所 参加者数
第 127 回 25.6.19～21	工程設計コース	旭サナック(株)圧造技術センター 参加者 24 名
第 128 回 25.9.18～20	金型設計コース	〃 参加者 24 名
第 129 回 25.10.16～18	工程設計コース	〃 参加者 23 名
第 130 回 25.12.11～13	工程設計コース	〃 参加者 24 名
第 131 回 26.2.12～14	工程設計コース	〃 参加者 23 名
第 132 回 26.3.18～20	金型設計コース	〃 参加者 19 名

○ 圧造技術スクールの開講記念の対応

平成 25 年度は、圧造技術スクール開講 25 周年であり、それを記念して特別講演会等が開催 (H25. 11. 15 於:(株)旭サナック) され当協会から相澤正己技術委員長 (事務局含む) が出席した。

(5) JIS/ISO に関する事業

○ 六角ボルト (JIS B 1180)、六角ナット (JIS B 1181) の改正に伴う事業

・ 改正概要の報告 (周知/P R)

昨年度、JIS 原案作成委員会 (日本ねじ研究協会事業) で検討された、同規格の改正内容の概要 (附属書は存続したが将来的には廃止して本体規格に一本化される。附属書による製品は新しい設計では使用しないのが良い) を報告 (各種会合で報告、協会ホームページ並びにねじ業界紙発表 等)

・ 六角ボルト (JIS B 1180)、六角ナット (JIS B 1181) の使用状況調査

五地域ねじ協会交流大会に参加している海外ねじ協会に対して、同規格 (本体規格による製品又は附属書による製品) の生産状況を把握するためアンケート調査を依頼中

・ リーフレット作成事業

本体規格による製品と附属書による製品との混在等、JIS 改正の新たな問題に対処するため対外的な周知 (P R) 用リーフレットの作成検討

日本ねじ商業協同組合連合会 (以下、ねじ商連) に同事業への協力を依頼

(H25. 8. 9 於:ねじ商工連盟総会、H25. 11. 19 於:ねじ商連総会)

ねじ商連と当協会が共同でボルト・ナットリーフレット作成委員会を設置

(H25. 12. 4 当協会理事会で技術委員会の下部組織として設置する旨承認)

同委員会によるリーフレット作成に関する検討 (目的、目標、対象者、掲載内容等)

(H25. 10. 4、H25. 12. 19、H26. 2. 10、H26. 3. 10 計4回 同委員会開催)

当協会会員並びにねじ商連組合員に対して本件に関するアンケート実施

ねじ商連/日本ねじ研究協会に同事業の進捗 (概要) を報告

○ JIS 規格の制定・改正状況報告 (日本ねじ研究協会との連携)

日本ねじ研究協会の実施事業の状況報告を協会ホームページで紹介

(6) サポートインダストリー振興事業

○ 特定ものづくり基盤技術高度化指針の見直しについて

・ 特定ものづくり高度化見直し検討会議 (接合・実装技術WG) 委員推薦

・ 同会議 接合・実装技術WG開催に向けた日程調整並びに同WGへの出席対応

・ 同WGにおける接合・実装技術の技術指針見直し作業 (検討) 並びに取り纏め確認作業

・ 取り纏めた同指針に対するパブリックコメント対応

・ 改正指針の公表 (P R)

○ 会員啓発のための作業

・ 委員会・部会等の諸会合における啓発作業

・ 企業訪問等による会員への啓発作業

・ 会員への公募案内通知及び案件ニーズ等の情報収集

・ メルマガ等その他の広報活動による会員への啓発作業

○ 公募関係事前案内等の会員への活用促進対応

○ 申請作業に関する会員サポート対応

(7) 有害物質規制及び地球環境温暖化対策に関する事業

海外の化学物質管理規制、省エネ・温暖化対策等に関する情報の収集

(8) ねじ入門書の頒布、JIS ハンドブックの斡旋

(9) ねじ入門書のCD化検討、CD頒布準備 (予約対応等)

(10) 平成25年度 本委員会の事業計画案の策定

(11) その他、技術振興事業

5. 国際委員会事業 (大川克良委員長)

(1) 2014年五地域ねじ協会交流大会 (於 台湾) の参加対応

○ 台湾他海外ねじ協会との連絡・渉外、交流大会会議資料作成・翻訳、工場見学先の検討・依頼など同大会準備

○ 建築ねじ部会事業 (台湾における展示会及び台湾市場視察 (工場見学)) の準備協力

○ 台湾ねじ博物館対応 (完成祝賀金準備、授与に関する対応 (報道対応等) 他)

- (2) 2013年五地域ねじ協会交流大会（於 上海）への参加
以下のとおり、五地域ねじ協会交流大会に参加

<大会概要>

日 程	6月18日（火）～21日（木）
場 所	中国 上海
参加者	中国機械通用零部件工業協会緊固件專業分会（馮金堯会長） 67名
	韓国ファスナー工業協同組合（魚鎮善理事長） 24名
	台湾区螺絲工業同業公会（陳明昭理事長） 31名
	香港螺絲業協会（林志明主席） 23名
	一般社団法人日本ねじ工業協会（竹中弘忠会長） 29名
	合計 174名

<大会構成>

日 程	6月18日	代表者会議
	19日	上海寶山鋼鐵股份有限公司工場見学 交流会議 晚餐会
	20日	2013上海ファスナーエキスポ&上海自動車ファスナー展示会視察 昆山富士先端機械加工 工場見学

※ 来年の開催地は台湾 高雄に決定した

- (3) 原産地規則、自由貿易協定、TPPに関する情報収集
日本及び諸外国間のFTA/EPA協定締結状況、運用状況、TPP情報、原産地規則等の情報収集提供
- (4) 海外ねじ関連企業工場見学（五地域ねじ協会交流大会関係以外）
韓国ねじ製造企業(2社+1事業所)及び線材製造企業(2社)の工場見学（於:韓国 釜山）
（ステンレスねじ部会事業）
- (5) 国際関連情報の情報収集提供
・海外セミナー開催（インドセミナー）（未来開発・パブリシティ委員会事業）
- (6) その他、国際協調・競争力強化関係事業

<参考> 日本におけるEPA/FTAの状況について

シンガポール	2007年9月	発効（改正議定書）
メキシコ	2012年4月	発効（改正議定書）
マレーシア	2006年7月	発効
チリ	2007年9月	発効
タイ	2007年11月	発効
フィリピン	2008年12月	発効
ブルネイ	2008年7月	発効
インドネシア	2008年7月	発効
アセアン全体	2008年12月以降	順次発効
	'08.12（日本、シンガポール、ラオス、ベトナム、ミャンマー）	
	'09.1（ブルネイ）、同2（マレーシア）、同6（タイ）、同12（カンボジア）	
	'10.7（フィリピン）	発効
ベトナム	2009年10月	発効
スイス	2009年9月	発効
インド	2011年8月	発効
ペルー	2012年3月	発効
GCC(湾岸協力理事会)加盟諸国	(サウジアラビア、クウェート、UAE、バーレーン、カタール、オマン)	
	2007年1月	交渉開始（これまで3回交渉）
オーストラリア	2014年4月	大筋合意（これまで16回交渉）
韓国	2011年5月	交渉再開に向けて事前協議
モンゴル	2013年7月	交渉開始（これまで4回交渉）
コロンビア	2013年11月	交渉開始（これまで3回交渉）
カナダ	2014年3月	交渉開始（これまで5回交渉）
日中韓	2014年3月	交渉開始（これまで4回交渉）
EU	2014年3月	交渉開始（これまで5回交渉）
東アジア地域包括的経済連携（RCEP）		
	2014年4月	交渉開始（これまで4回交渉）
トルコ	2013年7月	共同研究立ち上げを合意
その他		
TPP	シンガポール、ニュージーランド、チリ、ブルネイ、アメリカ、オーストラリア、ペルー、マレーシア、メキシコ、カナダ、日本(2013年7月参加)	の計12カ国が交渉参加

6. 労務委員会事業（大磯義和委員長）

（1）会員企業の労務に関する調査

会員企業の従業員賃金・賃上げ、賞与に関する調査

労務委員会では、労務調査対象企業 27 社に対して以下の調査を行い、回答企業には集計結果を報告。

調査名	調査内容・回答社数
① 平成 25 年度従業員賃金調査	調査内容 ・従業員数、労働時間、休日、週休 2 日制、定年制 ・平均賃金(全従業員数、組合員) ・年齢別平均賃金(男子従業員) ・新規学卒者初任給、採用者数 ・賃金上昇額、賞与、期末手当 ・賃金体系 他 回答 12 社 （集計結果は製本して頒布）
② 平成 24 年年末手当要求、妥結状況	回答 13 社
③ 平成 25 年春期賃上げ要求、妥結状況	回答 7 社
④ 平成 25 年夏期手当要求、妥結状況	回答 12 社

（2）雇用関係情報等の労務関係情報の収集・提供

（3）団体グループ保険制度、国内・輸出向け団体 P L 保険制度加入拡充の促進のため
会員宛に団体保険制度の案内パンフレット送付等の情報提供及び事務処理作業

7. 財務委員会事業（嶋田亘委員長）

- （1）予算作成、決算報告、事業支出時等に予算に見合った適正な財務状況となるよう諮問を行った
- （2）会費規程の見直し検討、報告

II 部会事業

○ 部会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長)	(第一回) 25. 6. 19 14:00～16:30 大阪:関西支部会議室 参加者 7名	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入動向について ・韓国市場視察団派遣について ・ステンレスねじ市況状況等について
	(第二回) 25. 9. 17 14:00～16:20 大阪:関西支部会議室 参加者 8名	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入動向について ・韓国市場視察団派遣日程の再調整について ・ステンレスねじ市況状況等について
	(第三回) 25. 12. 18 17:00～18:00 大阪:北むら(心齋橋) 参加者 9名	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入動向について ・韓国市場視察団派遣について ・ステンレスねじ市況状況等について ・懇親会
ソケットスクリー部会 (椿省一郎部会長)	26. 3. 14 11:00～12:30 名古屋:キャッスルプラザ 参加者 13名	<ul style="list-style-type: none"> ・各社の近況報告と情報交換等

○ 懇親会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ソケットスクリー部会 (椿省一郎部会長)	26. 1. 23 17:00～19:00 東京:東京會館 参加者 42名	<ul style="list-style-type: none"> ・賀詞交歓会

○ 講演会及び工場視察

	日程・場所	内容・その他
ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長)	26. 3. 6～3. 8 韓国:釜山	≪工場視察≫ 韓国(日系)ねじ製造企業(2社+1事業所)及び線材製造企業(2社)の工場見学 参加者数: 13名(内 現地参加:1名(通訳)) 視 察 先: 3. 6(木) 午後・高麗特殊線材(株) 3. 7(金) 午前・韓国ソケットセンター ・(株)Alfas ・韓産スクリー(株) 午後・ポスコ特殊鋼(株)
建築用ねじ部会 (平田彰三郎部会長)	25. 8. 29 14:00～15:30 大阪:関西支部会議室 参加者 9名 内 講師:2名	≪講演会≫ テーマ:「線材市況と新製品について」 講 師:大阪精工(株) 常務取締役 山根 洋一 氏 CS 推進部 製品開発室 開発係長 岩本 真一 氏

Ⅲ 組織強化事業

- (1) 魅力ある協会運営のための事業推進
 - 協会の財政の健全化、魅力ある事業推進及び会員の増強等協会の基盤強化の推進のために、7委員会・7部会（上記参照）活動を活性化
 - 会員増強の推進
 - 関東・中部・関西の各支部懇談会開催及び懇親会の開催等による会員の相互連携強化事業
- (2) 一般社団法人への移行後の事務作業
- (3) 諸規程整備準備
- (4) 政府経済対策等への対応
 - 政府・官公庁からの情報提供等政府施策活用促進
 - 政府経済対策情報提供
 - ・ 中小企業信用保険法（セーフティネット保証）の業種指定への対応
 - ・ 政府補助金事業及び補正予算関係の情報提供
 - 電力需給対策・原子力発電対策への対応（政府支援策等の情報提供）
- (5) 取引の適正化に係わる事業
 - 消費税増税に対する対応
（説明会への参加、政府からの情報周知・対応、会員の対応状況等情報収集、
引渡し日の新消費税率適用の周知）
 - 政府の下請取引適正化対策の周知・対応
（下請適正取引ガイドラインの修正への対応・周知並びに業界取組みの説明対応、
活用状況等の情報収集、その他 取引の適正化に係わる情報の情報収集・提供）
 - 取引問題委員会（全国中小企業団体中央会 委員会）への協力
 - 部会・ねじ商工連盟総会等における原材料関係等に関する情報交換
- (6) ねじ商連、日本ねじ研究協会等関連団体との連携強化
（日本ねじ研究協会 主催 講演会の案内を HP 掲載 他）
- (7) その他
 - 経済産業省等の行政省庁との情報交換（会員企業への企業訪問への対応、情報交換）
 - （一社）日本機械工業連合会、全国中小企業団体中央会、鉄鋼製品団体協議会等団体との対応
 - 栄典申請対応・作業、栄典受章対応（発表並びに祝賀対応）

第3章 総会、理事会、執行役員会、懇談会・懇親会等

1. 総会、理事会、執行役員会

(1) 総会

一般社団法人に改組後の第1回社員総会は、5月23日に東京で開催。(議事録は「参考1」に記載)

	日時・場所 出席者数	議 題・その他
第1回 社員総会	25.5.23 15:00～16:20 東京・浜松町 東京會館 出席155名 (内委任状 58名)	第1号議案 平成24年度事業報告書(案)並びに決算報告(案)承認に関する件 第2号議案 平成25年度事業計画書(案)並びに収支予算(案)承認に関する件 第3号議案 会費規程改正(案)承認に関する件 第4号議案 次期役員候補(案)承認に関する件 ○総会終了後懇親会 来賓挨拶:経済産業省製造産業局産業機械課 課長補佐 金澤 信 様

(2) 理事会、執行役員会

平成25年度は理事会、執行役員会を同日・同時間・同場所で年間5回開催、概要は以下のとおり。

	日時・場所 出席者数	議 題・その他
第1回理事会 第1回執行役員会	25.4.25 14:00～15:30 東京・ 機械振興會館 出席理事7名 出席監事2名 出席執行役員 67名 (内委任状37名)	議題1 入会申請案について 議題2 総会付議案件について ①次期役員候補案について ②平成24年度事業報告案について ③平成24年度決算報告案について 議題3 諸規程整備について ○理事会開催に先立ち 経産省の推進している政策等の紹介及び説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課 係長 國峯 彰太 様
5月理事会 5月執行役員会	書面審議 全理事及び 過半数の執行 役員承認	議題1 新規入会申請案について
会長、副会長及び 専務理事等互選 のための理事会 同執行役員会	25.5.23 16:20～16:40 東京・東京會館 出席理事9名 出席監事1名 出席執行役員 67名 (内委任状20名)	第1号議案 会長、副会長及び専務理事等決定の件 第2号議案 関東、中部及び関西支部長決定の件 第3号議案 顧問、相談役、参与委嘱、委員長及び部会長の件
第2回理事会 第2回執行役員会	25.9.12 14:00～15:30 名古屋・ キャスルプラザ 出席理事7名 出席監事2名 出席執行役員 67名 (内委任状39名)	第1号議案 執行役員選任案に関する件 第2号議案 会費規程見直し案に関する件 第3号議案 定款に関する件(会員入会資格の解釈の確認) ○理事会開催に先立ち 経産省の推進している政策等の紹介及び説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課課長補佐 金澤 信 様

	日時・場所 出席者数	議 題・その他
第3回理事会 第3回執行役員会	25.12.5 14:00～15:00 大阪・ ホテル日航大阪 出席理事 9名 出席監事 2名 出席執行役員 65名 (内委任状26名)	議題1 六角ボルト・ナット JIS 改正チラシ製作について 議題2 国立科学博物館への遺産登録について 議題3 平成26年度行事予定(案)について ○理事会開催に先立ち 経産省の推進している政策等の紹介及び説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課 係長 國峯 彰太 様
第4回理事会 第4回執行役員会	26.3.20 14:00～15:00 東京・ 機械振興会館 出席理事 8名 出席監事 2名 出席執行役員 66名 (内委任状30名)	議題1 執行役員選任案について 議題2 総会付議案件について ①平成26年度事業計画案について ②平成26年度収支予算案について ③会費規程改正案について ④理事候補選任案について ○理事会開催に先立ち 経産省の推進している政策等の紹介及び説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課課長補佐 金澤 信 様

2. 懇談会・工場見学会・懇親会等

懇談会・工場見学会・懇親会等の開催

	日時・場所等	時間・参加者数
総会懇親会	25.5.23 東京・浜松町 東京會館	16:30～18:30 参加者 77名
関西支部 工場見学会・ 懇談会・懇親会 (後藤晴雄支部長)	25.6.13 神戸・ホテル ホップインアミング 《工場見学会》 見学先:ヤンマー(株) 尼崎工場 特機エンジン事業本部(尼崎)	工場見学会 14:00～16:00 参加者 44名 懇談会 16:30～17:00 参加者 39名 懇親会 17:00～18:30 参加者 39名
中部支部懇談会・懇親会 (相澤正己支部長)	25.7.11 名古屋・キャッスルプラザ	懇談会 16:30～16:50 参加者 37名 懇親会 16:50～18:30 参加者 42名
忘年会 (12月理事会)	25.12.5 大阪・ホテル日航大阪 《忘年会》 来賓挨拶:経済産業省 近畿経済産業局 産業部 製造産業課長 内海 美保 様	講演会 15:30～16:30 参加者 77名 忘年会 16:30～18:30 参加者 77名
関東支部懇談会(工場見学)・ 講演会・忘年会 (椿省一郎支部長)	25.12.13 《工場見学》 見学先:(株)総合車両製作所(横浜) 《忘年会》 聘珍樓(横浜中華街)	講演会 13:30～15:00 懇談会(工場見学) 15:00～16:30 忘年会 17:30～19:00 参加者 講演会・工場見学 32名、 忘年会 27名
賀詞交歓会 (日本ねじ研究協会と共催)	25.1.18 東京・浜松町 東京會館	15:00～16:30 参加者 182名
中部支部 工場見学会・ 懇親会 (相澤正己支部長)	25.2.26 名古屋・名鉄グランドホテル 《工場見学会》 見学先:川崎重工業(株)名古屋第一工場 航空宇宙カンパニー(愛知県弥富)	工場見学会 14:00～16:00 参加者 29名 懇親会 17:00～18:30 参加者 41名

3. ねじ商工連盟総会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ねじ商工連盟総会 (竹中弘忠会長、 由良豊一副会長)	25.8.9 12:00～14:00 東京・ 浜松町 東京會舘 参加者数 ねじ協会側 13名 ねじ商連側 13名 報道 6名	第1号議案 平成24年度収支決算報告並びに 剰余金処分案承認に関する件 第2号議案 平成25年度収支予算案承認に関する件 第3号議案 任期満了に伴う正副会長改選に関する件 (総会終了後) ・ねじ商連側代表4名より地区別に現況及び見通し等報告 ・ねじ協会側より資格委員会からの事業報告及び 六角ボルト・六角ナットの(JIS 附属書廃止に伴う) JIS 改正案について説明

【平成25年度会員数推移】

	期首	入会	退会	期末
正会員 (内団体)	155 (5)	0 (0)	2 (0)	153 (5)
賛助会員	41	2	3	40
合計	196	2	5	193(5)

平成25年度入会社数

賛助会員2社

賛助会員

サンアロイ工業株式会社
日本エリコンバルザース株式会社

平成25年度退会社数

正会員2社 賛助会員3社

正会員

株式会社鋳勝製作所 (関東支部)
日亜鋼業株式会社 (関西支部)

賛助会員

株式会社キョークロ
日本ハードウェア株式会社
株式会社ウチノ

・会員数推移

	入会	退会	年度末	全会員
平成18年度(06)	1 (0)	6 (1)	168 (6)	200 (6)
	0	0	32	
平成19年度(07)	2 (0)	8 (0)	162 (6)	195 (6)
	2	1	33	
平成20年度(08)	1 (0)	10 (0)	153 (6)	184 (6)
	0	2	31	
平成21年度(09)	9 (0)	7 (1)	155 (5)	190 (5)
	4	0	35	
平成22年度(10)	2 (0)	4 (0)	153 (5)	192 (5)
	5	1	39	
平成23年度(11)	1 (0)	2 (0)	152 (5)	192 (5)
	1	0	40	
平成24年度(12)	3 (0)	0 (0)	155 (5)	196 (5)
	2	1	41	

上段：正会員（内団体数）

下段：賛助会員

【参考1】第1回社員総会議事録（一般社団法人日本ねじ工業協会）

1. 日 時
平成25年5月23日（木曜日） 15:00 ～ 16:20
2. 場 所
東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル39階 東京會館「オリオンルーム」
3. 出席者
正会員総数 155名
出席正会員数 117名（うち委任状及び書面決議による出席者58名）
4. 議 題
第1号議案 平成24年度事業報告(案)並びに決算報告(案)承認に関する件
第2号議案 平成25年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件
第3号議案 会費規程改正（案）承認に関する件
第4号議案 次期役員候補（案）承認に関する件

開会に先立ち、平成24年度にご逝去された会員企業代表者等物故者のご冥福を祈り黙祷を捧げた。

5. 議 事
大磯専務理事から、出席正会員数につき、定款第29条（正会員の過半数の出席により成立）の要件を満たし定足数に達している旨報告。
定款第27条（総会の議長は、会長があたる）の規定により、竹中弘忠会長が議長となった。
議事に入る前に、来賓の経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 金澤 信 氏より、挨拶があった。
続いて議長が本日の議事録署名人に椿省一郎副会長、相澤正己副会長の2名を指名して議事に入った。

第1号議案 平成24年度事業報告(案)並びに決算報告(案)承認に関する件

専務理事より、資料1-1「平成24年度事業報告書(案)」及び資料1-2「平成24年度決算報告書(案)」に基づき説明があった。

続いて監事を代表して田中良典監事が、「去る4月23日に、監事2名が一般社団法人日本ねじ工業協会本部において、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの事業年度における事業内容、財産の状況並びに理事の業務執行状況の監査を行った結果、貸借対照表、財産目録及び収支計算書は正しく示しており、また理事の職務執行についても法令また定款に違反していないと認める」旨の報告があった。

議長より第1号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

第2号議案 平成25年度事業計画(案)並びに収支予算(案)及び
第3号議案 会費規程改正（案）承認に関する件

資料2-1「平成25年度事業計画書(案)」及び資料2-2「平成25年度収支予算書（案）」に基づき、専務理事より骨子の説明があった。

また3号議案について、専務理事より現在の「会費規程」は会員企業の現状に即していないため、会費規程改正委員会を発足し改正案を作成した。この改正案が平成20年12月理事会において承認されたが、世界的な経済不況により総会への上程を延期した経緯がある。ここにきてまだ日本経済が好転したとはいえませんが、20数年前のデータを基に適用している会費金額を、現状に即した公平で適正な金額に修正する必要がある。この改正案は、会費算定基礎を従業員数と売上高の両面より決定するものとなっており、また、会員の子会社会員会費の新設と法人を構成員とする団体の会員及び賛助会員の会費を組合員数及び従業員数によって会費金額を細分化したと説明した。

議長より第2号議案及び3号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

第4号議案 次期役員候補（案）の承認に関する件

専務理事より、現理事及び監事の任期は本社員総会終結時のため、次期役員候補を資料4「次期役員候補案」に記載している。審議願いたいと説明した。

議長が議場に第4号議案を諮った結果、異議なく承認された。

【次期理事候補】		(順不同、敬称略)
竹中 弘忠	株式会社竹中製作所	取締役会長 (重任)
椿 省一郎	株式会社互省製作所	代表取締役社長 (重任)
大川 克良	大川精螺工業株式会社	代表取締役社長 (重任)
相澤 正己	メイラ株式会社	代表取締役社長 (重任)
後藤 晴雄	株式会社朝日押捻子製作所	代表取締役社長 (重任)
嶋田 亘	株式会社フセラシ	取締役会長 (重任)
小林 伊知郎	株式会社佐賀鉄工所	代表取締役社長 (就任)
長谷川 裕恭	株式会社メイドー	代表取締役社長 (就任)
大磯 義和	一般社団法人日本ねじ工業協会	専務理事 (重任)
【次期監事候補】		(順不同、敬称略)
後関 満之	株式会社後関製作所	代表取締役会長 (重任)
田中 良典	田中熱工株式会社	代表取締役社長 (重任)

※新理事及び新監事の任期は平成27年社員総会終結時迄

○報告事項

- ① 嶋田副会長叙勲報告について
専務理事より、平成25年春の叙勲で嶋田 亘副会長が旭日小綬章を受章されたと報告し、竹中会長より受章のお祝いとして記念品の贈呈を行った。
- ② 名誉会長の称号授与について
第7代会長を務めた藤本美明氏へ、永年協会及びねじ産業の発展に尽力された功績により、名誉会長としての称号を贈ると報告した。

議長は、以上をもって第1回社員総会の議事が全て終了した旨を述べ、16時30分終了した。

上記の議決を明確にするために本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに署名捺印する。

平成25年5月23日

一般社団法人日本ねじ工業協会

議長	会長	竹中 弘忠
署名人	副会長	椿 省一郎
署名人	副会長	相澤 正己